

抗原検査キットを使用する前に

発熱、鼻水、のどの痛み、咳などの風邪のような症状が出た際、

新型コロナウイルスへの**感染の可能性**があります。

この抗原検査キットは、**皆様に症状が出たときに、**

すぐにご自身で検査ができるようお配りするものです。

キットを使用するときは、**必ず裏面の使用方法をご確認**ください。

(このキットでの検査は、症状があるときにお使いください。**無症状の方は、使用できません!**)

このキットを**使用した際は**、必ず右の**二次元コード**から、

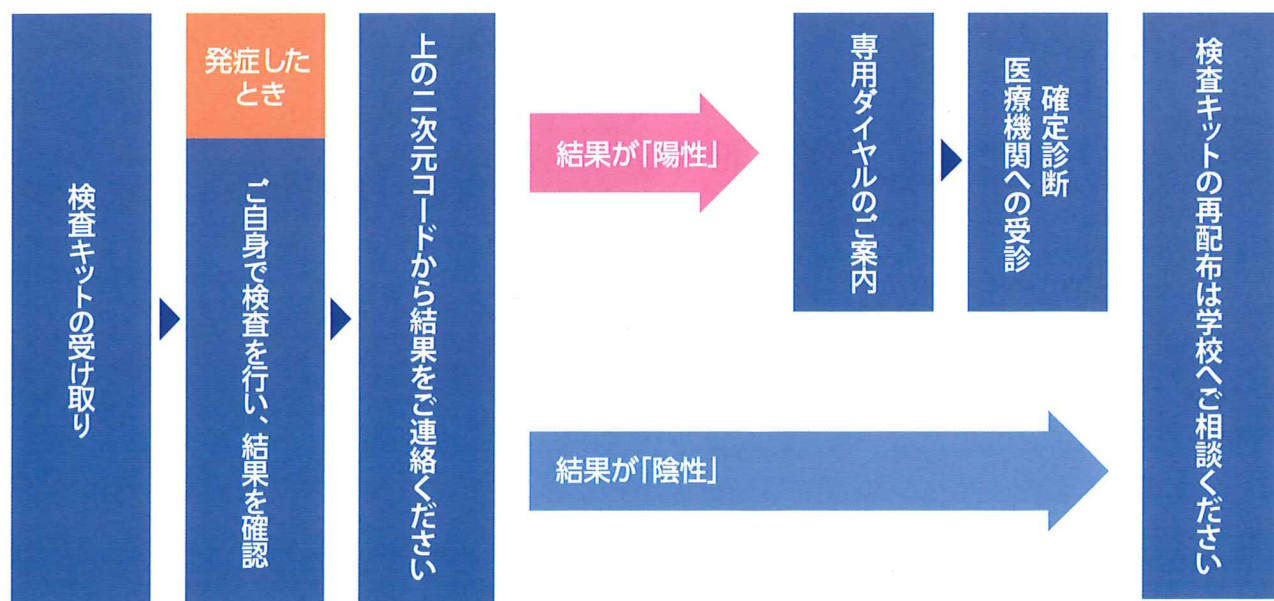
陽性か陰性かの判定**結果をご連絡**ください。

結果に応じた対応をお知らせします。



※LINE登録できない方は別途送付したメールから、使用後の対応を確認願います。

LINEに登録している場合



【抗原検査キットの注意事項】

①幼児の手の届かない室内で保管(冷蔵の必要はありません)、②火気の近くでの保管・操作は厳禁、③キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意し、万一の際は多量の水で十分洗い流し、必要に応じて医師の手当てを受けること。

(問合せ先) 抗原検査問合せフォーム

裏面もご覧ください



抗原検査キットの使用法（フロー）

デンカ(株)クイックナビ-COVID19Ag(15min)



0. 準備

二次元コードから、動画をご覧ください。

このキットでの検査は、症状が出た際に行います。**(無症状の方は、使用できません)**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/coronaline/howto-kougenkensa2.html>



1. 検体のとり方

① 綿棒を鼻の入り口から2cm程度、粘膜部分をめぐうようにしてゆっくり挿入します。

② 綿棒を**5回**程度ゆっくり回転させます。

③ **5秒**たち、綿棒が十分湿った後、そっと引き抜きます。

(幼児等、鼻が小さくて綿棒が2cm入らない場合は、入るところまで結構です)



2. 検体の抽出

チューブのアルミシールをはがし、綿棒をチューブ内の検体浮遊液に浸します。

チューブの外側から綿球部分を**はさみ押さえ上下に動かしながら10回程度かき混ぜます。**

チューブの外側から綿球部分をつまんで、綿球部分を絞るように綿棒を引き抜きます。



3. キャップをはめる

チューブにキャップをはめ込みます。



4. 3滴 たらす

キャップを付けたままチューブを逆さにし、チューブを軽く押し、

液をキットの右端の「**滴**×3」と表示のある窓枠に**3滴**たらし、**15分間**待ちます。



陰性(-)

陽性(+)

C T

C T

Cラインのみ出現

CラインとTラインが出現

判定不能

C T

C T

Tラインに灰色の線

Tラインのみ出現

5. 反応時間・判定

15分後速やかに判定を行います。

時間が長すぎても短すぎても正しい結果になりませんので、必ず**タイマー**を使用してください。

※「陽性」の場合はCラインとTラインが出現します。Tラインが灰色の場合やCラインが見えなくなった場合は判定不能です。

※「判定不能」の場合はもう一度検査してください。



6. 二次元コードから連絡

二次元コードから、判定結果をご連絡ください。

結果に応じたその後の対応をご案内します。

※LINE登録できない方は別途送付したメールから、使用後の対応を確認願います。

7. その他

使用後のキット等は、ビニール袋に入れ、しっかり口を縛りごみに出します。